

令和 3 年度

「運営に関する計画」

大阪市立難波中学校

令和 3 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 安全・安心な学校づくりをめざして、全教職員が連携して問題行動を未然に防止する指導に力を入れて取り組み、学校の規律を維持している。また、豊かな心を育む教育を推進し、他者を思いやる優しい心の育成に努めている。さらに、学校の教育活動のあらゆる場面で生徒に自信を持たせるよう取り組み、自尊感情を高めるようにも努めている。しかし、日本語の指導や配慮を要する生徒が増えており、個に応じた支援をさらに充実させていかなければならない状況が年々厳しさを増している。
- 学習面では、ICT 機器を活用し、生徒の関心・興味を高めつつ、個に応じた学習を進めているが、学習習慣の定着がはかりきれていない。全国学力・学習状況調査や中学校チャレンジテストにおいて、本校の各項目の平均正答率は大阪市の平均に及ばず、学力の向上が喫緊の課題である。
- また、起床時間や就寝時間など基本的な生活習慣においても課題があり、さらに家庭と連携しながら、生活のリズムを整え、健康の保持・体力の向上もはかっていかなければならない。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 平成 29 年度～令和 3 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて組織的に対応している割合を 100%にする。
➤ (H29)100.0%→(H31)100.0%→[R1]100.0%→[R2]100.0%→[R3]
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を毎年、前年度より減少させる。
➤ (H29)1 人→(H31)1 人→[R1]0 人→[R2]1 人→[R3]
- 毎年度末の校内調査において不登校の生徒の割合を前年度より減少させる。
➤ (H29)4.42%→(H31)7.82%→[R1]11.30%→[R2]9.09%→[R3]
- 平成 29 年度～令和 3 年度の年度末の生徒アンケートにおける「集団や社会のルール、道徳マナーを守っていくことの大切さを学んだ」^①、「他者を思いやり、相手の立場になって考え、優しい心を持って行動できるように努めた」^②の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を 75%以上に維持する。
➤ ①(H29)89.0%→(H31)91.8%→[R1]93.9%→[R2]96.8%→[R3]
➤ ②(H29)90.2%→(H31)91.1%→[R1]87.1%→[R2]92.9%→[R3]
- 令和 3 年度末の生徒アンケートにおける「学校の規則を守っている」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を 90%以上にする。
➤ [R2]95.8%→[R3]
- 令和 3 年度末の生徒アンケートにおける「自分の悩みを相談できる人がいる・できている」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合をそれぞれ 90%以上にする。
➤ [R2]84.1%→[R3]

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和 3 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、平成 28 年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答率が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと)
➤ 1 年生(H28)86.6→[R2]88.3→[R3]

- 2年生(H28)88.0→[R2]85.8→[R3]
- 3年生(H28)88.3→[R2]未実施→[R3]
- 令和3年度の中学校チャレンジテストにおける正答率4割以下の生徒を、いずれの学年も平成28年度より10ポイント減少させる。
 - 1年生(H28)40.0→[R2]33.9→[R3]
 - 2年生(H28)43.1→[R2]48.1→[R3]
 - 3年生(H28)50.8→[R2]未実施→[R3]
- 令和3年度の中学校チャレンジテストにおける正答率7割以上の生徒を、いずれの学年も平成28年度より5ポイント増加させる。
 - 1年生(H28)18.3→[R2]11.9→[R3]
 - 2年生(H28)5.2→[R2]13.0→[R3]
 - 3年生(H28)3.2→[R2]未実施→[R3]
- 令和3年度の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して「している(どちらかいえばしている)」と答える生徒の割合を平成28年度より増加させる。
 - (H28)53.4%→[R2]81.6%※校内調査(3年)→[R3]
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を、平成28年度より7ポイント向上させる。
 - 男子(H28)38.68→[R2]37.67※新体力テスト→[R3]
 - 女子(H28)45.53→[R2]45.66※新体力テスト→[R3]
- 平成29年度～令和3年度の年度末の生徒アンケートにおける「毎日朝食をとっている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を70%以上に維持する。
 - (H29) 72.1%→(H31) 63.2%→[R1] 80.9%→[R2] 84.4%→[R3]

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

全市共通目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
 - [R2]100.0%→[R3]
- 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。
 - [R2]95.8%→[R3]
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
 - [R1]0人→[R2]1人→[R3]
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。
 - [R1]1.70%→[R2]2.27%→[R3]

学校園の年度目標

- 校内調査を7・12月に実施し、①「学校へ行くのが楽しい」、②「友達や先生に相談しやすい雰囲気がある」、

③「学校の授業に集中して取り組んでいる」、④「自分の将来に夢や希望を持っている」に「そう思う」と答える生徒の割合を、1回目より増加させる。

- ①[1回目] %→[2回目]
- ②[1回目] %→[2回目]
- ③[1回目] %→[2回目]
- ④[1回目] %→[2回目]

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
 - 1年生^{※3科}[R2]0.86→[R3]
 - 2年生^{※3科}[R2]0.80→[R3]
 - 3年生^{※5科}[R2]実施せず→[R3]
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
 - 1年生^{※3科}[R2]33.9→[R3]
 - 2年生^{※3科}[R2]41.1→[R3]
 - 3年生^{※5科}[R2]実施せず→[R3]
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
 - 1年生^{※3科}[R2]13.6→[R3]
 - 2年生^{※3科}[R2]14.3→[R3]
 - 3年生^{※5科}[R2]実施せず→[R3]
- 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
 - [R2]80.8%→[R3]
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点において、全国平均との差を-5ポイント以上にする。※()内は全国平均、[R2]は大阪市体力テストから
 - 男子[R1]32.71(41.6)→[R2]37.67→[R3]
 - 女子[R1]42.91(50.0)→[R2]45.66→[R3]

学校園の年度目標

- 新体力テストにおいて、昨年度の体力合計点を維持・向上させる。
 - 男子[R2]37.67→[R3]
 - 女子[R2]45.66→[R3]
- 校内調査における「毎日、朝食をとっている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を80.0%以上にする。
 - [R2]84.4→[R3]

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

大阪市立難波中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかつた	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 ➤ [R2]100.0%→[R3] ● 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 90%以上にする。 ➤ [R2]95.8%→[R3] ● 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 ➤ [R1]0人→[R2]1人→[R3] ● 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 ➤ [R1]1.70%→[R2]2.27%→[R3] <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 校内調査を7・12月に実施し、①「学校へ行くのが楽しい」、②「友達や先生に相談しやすい雰囲気がある」、③「学校の授業に集中して取り組んでいる」、④「自分の将来に夢や希望を持っている」に「そう思う」と答える生徒の割合を、1回目より増加させる。 ➤ ①[1回目] %→[2回目] ➤ ②[1回目] %→[2回目] ➤ ③[1回目] %→[2回目] ➤ ④[1回目] %→[2回目] 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容 1【施策1 施策安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いじめ認知・対応方針を周知し、いじめの未然防止を徹底する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フローチャートを作成し、毎月、かつ発生時に対策委員会を開催する。 ● 定期的に生徒調査、教職員研修を実施する。 ● 「いじめについて考える日」の取り組みを実施する。 ● 重大事案発生時には、外部機関と迅速かつ適切に連携を図る。 	
<p>取組内容 2【施策1 施策安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問題行動に対し、学校全体で対応にあたる。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フローチャートを作成し、週1回ペースでの全体への啓発を実施する。 ● 外部講師を招く等、違法薬物、喫煙等の非行防止教室を実施する。 ● 問題行動の改善率を比較し、2学期の改善率を1学期以上にする。 	
<p>取組内容 3【施策1 施策安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不登校生徒等に対する、個別対応や進路選択へ向けた適切な支援を行う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 校内適応指導教室など、別室等の個別対応も実施する。 ● 定期的に対策委員会を実施し、登校しにくい生徒、外部機関との連携との連絡記録を行う。 ● 校内研修「不登校」における教職員の理解度の確認と、不登校に至った要因の分析を行う。 ● 重大事案発生時には、外部機関と迅速かつ適切に連携を図る。 	
<p>取組内容 4【施策1 施策安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童虐待への適切な対応を図り、生徒に対する適切な支援を行う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法令や対応についての教職員研修を実施し、教職員理解度の確認を図る。 ● 児童虐待防止法に則った、迅速かつ適切な外部機関との連携を図る。 	
<p>取組内容 5【施策1 施策安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネットやSNSを介したいじめや犯罪に巻き込まれないよう、生徒や保護者への啓発を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外部講師等を招いたインターネット安全利用教室を実施する。 ● 学期に1回、紙面やホームページでの啓発を実施する。 	
<p>取組内容 6【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人権教育年間指導計画にそって、同和教育をはじめ、多様な体験・学習を実施し、人権総合学習の充実を図る。 ● 全学年を通して、SDGsの取組を推進する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域産業である太鼓・皮革等、同和問題に関する学習を実施する。 ● 8・6人権平和登校日、ピースおおさか見学などの平和学習を実施する。 ● なにわ子ども人権文化祭や小中連携による交流活動を、コロナ禍で工夫して実施する。 	
<p>取組内容 7【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な生き方や価値観に触れ、経験し感じたことをもとに、生徒が学ぶ意欲を高め、勤労観・職業観を養うとともに、生きる力を身につけさせる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門・専修学校体験講座、職場体験学習、職業講話、進路学習等、また、キャリア・パスポートの有効活用により、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる通じて、キャリア発達を促す。 	

<ul style="list-style-type: none"> 校内調査を1・2学期末の2回実施し、「将来の夢や目標を持っている」という問い合わせに対して、「そう思う」と回答をする生徒の割合を向上させる。 	
<p>取組内容 8【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画に基づき、すべての生徒を支援するユニバーサル教育を推進する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内掲示を、誰にでも簡単で、分かりやすい表示に変える。 外部講師を招聘し、障がいに関する特別授業や、体験学習を実施する。 定例会議等で検討会を随時行い、ダッシュボードでの情報交換等により教職員間の連携を図りながら、生徒へのきめ細かな対応にあたる。 校内調査を1・2学期末の2回実施し、「学校にいくことは楽しい」という問い合わせに対して、「そう思う」と回答をする生徒の割合を向上させる。 	
<p>取組内容 9【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な文化を互いに理解しあう態度を養い、逞しく生きる生徒を育成する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際クラブ、渡日生徒のための学習会を週2回行う。 外部講師を招聘し、人権・国際理解に関する特別授業を年4回以上実施する。 校内調査を1・2学期末の2回実施し、「学校は、自分自身を誇ることができる場所だ」という問い合わせに対して、「そう思う」と回答をする生徒の割合を向上させる。 	
<p>取組内容 10【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を通して、様々な「気づき」を促し、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 子どもが優れた芸術文化に触れる機会を確保し、豊かな心や感性、創造性を育む。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内調査を1・2学期末の2回実施し、「学校では、命の大切さや社会のルールについて学んでいる」について「そう思う」と回答をする生徒の割合を向上させる。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度(今後)への改善点

大阪市立難波中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかつた	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> 1年生^{※3科}[R2]0.86→[R3] 2年生^{※3科}[R2]0.80→[R3] 3年生^{※5科}[R2]実施せず→[R3] 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。 <ul style="list-style-type: none"> 1年生^{※3科}[R2]33.9→[R3] 2年生^{※3科}[R2]41.1→[R3] 3年生^{※5科}[R2]実施せず→[R3] 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。 <ul style="list-style-type: none"> 1年生^{※3科}[R2]13.6→[R3] 2年生^{※3科}[R2]14.3→[R3] 3年生^{※5科}[R2]実施せず→[R3] 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 <ul style="list-style-type: none"> [R2]80.8%→[R3] 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点において、全国平均との差を-5ポイント以上にする。<small>※()内は全国平均、R2は大阪市体力テストから</small> <ul style="list-style-type: none"> 男子[R1]32.71(41.6)→[R2]37.67→[R3] 女子[R1]42.91(50.0)→[R2]45.66→[R3] <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 新体力テストを実施し、昨年度の体力合計点を維持・向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> 男子[R2]37.67→[R3] 女子[R2]45.66→[R3] 校内調査における「毎日、朝食をとっている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を80.0%以上にする。 <ul style="list-style-type: none"> [R2]84.4→[R3] 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容 11 【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> リーディングスキルテストの結果から本校生徒の実態を把握し、指導の工夫改善により、読解力の向上を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 把握したスキルをふまえ、リーディングスキルを意識した授業を全教科で実施する。 校内調査を 1・2 学期末の 2 回実施し、「授業の内容が分かるようになっていますか」という問い合わせに対して、「そう思う」と回答をする生徒の割合を向上させる。 	
<p>取組内容 12 【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科において、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を行い、学力の向上を目指す。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員間の相互授業、研究授業、授業後の研究討議を実施し、教員の授業力をのばす。 「主体的・対話的で深い学び」をはじめとする、授業力の向上に関する研究会や発表会の案内を回覧し、啓発を行う。 	
<p>取組内容 13 【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校力 UP コーディネーター、学校力 UP サポーター、学校元気アップ事業、外国人教育主担当と連携し、放課後、テスト前、長期休業中の学習会を実施する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートの「放課後やテスト前の学習会に参加している」という問い合わせに対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 50%以上にする。 	
<p>取組内容 14 【施策 6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT の設備や環境を整え、教員の ICT 活用指導力の向上を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT 支援員と連携し、定期的に研修を実施する。 学校評価アンケートの「ICT を活用した教材の導入がしやすくなった。」という問い合わせに対して、肯定的な回答をする教職員の割合を 100%にする。 	
<p>取組内容 15 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な運動習慣を確立させ、自己の状況に応じた体力の向上と心身の調和的発達を図る。 スポーツ活動を実施し、生徒の関心・意欲を高める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業や部活動で昨年度調査の課題を共有し、各場面での指導に役立てる。 今年度の新体力テストにおける体力合計点を、昨年度よりも 2 ポイント向上させる。 	
<p>取組内容 16 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活と疾病の予防について理解させ、生徒の健康への意識向上を図る。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎月、保健だより・食育だよりを配付し、生徒への周知を徹底する。 ● 各学期に委員会活動を通じて情報発信を行い、生徒や保護者に健康への意識を促す。 ● 専門的知識を持った外部講師を招聘し、食育・保健に関する特別授業を年 10 回以上実施する。 	
<p>取組内容 17 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校生活及び校外生活における保健・安全管理に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校保健委員会を年間 2 回、安全衛生委員会を年間 3 回実施し、専門家からの定期的アドバイスを受ける。 ● 毎週 1 回、健康教育部での学校安全点検を実施する。 ● 学校医や学校薬剤師とも連携し、教職員・保護者へ必要な情報の周知し、新型コロナウィルス感染症の感染拡大を防止する。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度(今後)への改善点